



特定非営利活動法人 日本歯周病学会

2023年 第2号 (9月)

ニュースレター

〒170-0003

東京都豊島区駒込 1-43-9 (一財) 口腔保健協会内

TEL: 03-3947-8891 FAX: 03-3947-8341 <http://www.perio.jp/>

発行人 沼部幸博 編集 広報委員会

【主要コンテンツ】 春季学術大会関連のご案内 日本歯科専門医機構報告 学会プロモーション活動
AAP-JSP/JACP2024 大会のご案内 秋季総会について

病名に思う



副理事長 西村英紀

スティグマという言葉をよく耳にするようになりました。特にわれわれの領域と関係の深い糖尿病の領域で、この病名がスティグマ、いわゆる「負のレッテル貼り」にあたるのではと指摘されるようになりました。負のレッテル貼りにより、患者さんが逃避行動に走り、病気を申告せず受診を回避するため、かえって疾患の進行を助長するとの危惧から、このような指摘が出てきたものと思います。たしかに糖尿病という病名は、結果を示すものであり、病態を的確に表現しているとはいえないと思います。しかしながら、長きにわたって使用され社会に定着した病名を変更するのは、影響があまりにも広範囲に及ぶため非常に大変です。

翻って、歯周病を考えてみましょう。糖尿病という病名は、歯周病を口臭病と呼んでいるようなもので、仮に歯周病が口臭病であったらやはり負のレッテル貼りにあたると思います。では、生活習慣病はどうでしょう。私的には、「だらしない人がかかる病気」とのレッ

テル貼りをしているようにも思えます。

WHO は生活習慣病にあたる病気を非感染性疾患と呼ぶようになりましたが、これも曖昧な定義で何を指すのかよくわかりません。以前、肥満が背景にあり肥満を危険因子として発症する疾患の集合体が、内臓脂肪症候群、シンドローム X、死の四重奏、そしてインスリン抵抗性症候群などと個別に呼ばれたため、危険因子重積症候群としていったん統一されたにもかかわらず、なじみにくい病名であったこともあり、メタボリック症候群という病名が考案されました。このように、病名は社会的にも影響力があるため大事です。

病名に限らず、医学領域で特定の集団を指す文言にも注意が必要です。英文論文の投稿にあたり、肥満者を obese people や obese subjects と記載すると必ず修正を求められます。正しくは subjects with obesity となります。この意味からすると喫煙者 (smoker) という表現も、負のレッテル貼りにあたるかもしれません。

生活習慣病性歯周炎という病名の導入が議論されていますが、「だらしない人が」罹患する歯周病というイメージを与えないでしょうか。喫煙が歯周組織に害があるからという理由で、喫煙者を上から目線で犯罪者のようなレッテル貼りをしていないでしょうか。病名や医学用語はよく考えて付けないと、影響が長く尾を引き、かえって受診率の低下につながるので注意が必要です。

第 67 回春季日本歯周病学会学術大会開催のご案内

令和 6 年（2024 年）5 月 24 日（金）、25 日（土）の 2 日間にわたり、第 67 回春季日本歯周病学会学術大会をビッグパレットふくしま（福島県郡山市）において開催いたします。第 63 回春季学術大会（2020 年）はコロナ禍で現地開催が不可能になり、学術大会を急遽オンライン配信に切り替えて運営しました。その後、当時の村上伸也理事長から、学術大会を改めて福島の地で開催してはどうかとお声をかけていただき、今大会の大会長を務める機会をいただきました。目下、現地開催とオンライン配信のハイブリッド開催を念頭に準備を進めています。

第 63 回学術大会のメインテーマは「歯周病学のプロフェッショナルリズムー歯周治療の実践知と科学知の融合を目指してー」でした。当時のニュースレターに書いたように、今後の歯科医療は精密医療および個別化医療の方向へ進むでしょう。歯周治療も例外ではありません。歯周治療の特徴から、薬で治せる領域は限られており、術者の臨床経験および治療技術が結果を大きく左右するため、EBM やガイドラインに加えて実践的視点から臨床上有益な情報を集積する必要があると考えます。最近、Chat GPT に EBM とクリニカル・パールの相違点を尋ねてみたら、両方とも最適の医療を提供する手段であるという回答でした。個別化医療の実践には EBM に加えて臨床の知が不可欠といえるでしょう。

2021 年に J. Personalized Medicine の special issue 「Precision Medicine for Oral Diseases」の guest editor に誘われ、13 論文を掲載できました (https://www.mdpi.com/journal/jpm/special_issues/Medicine_Oral_Diseases)。この仕事は歯科医療における精密医療を考える良い機会になるとともに、日本顕微鏡歯科学会第 19 回学術大会・総会（2023 年、郡山市）のメインテーマ「口腔疾患に対する顕微鏡下の精密治療」に繋がりました。歯周治療における精密医療を考える際、特定の遺伝子や分子をターゲットにする戦略はまだ不明確ですが、CBCT や顕微鏡を使用したマイクロデンティストリーは実践可能です。日本の医学や歯学の世界ではメカニズム論が活発な傾向にありますが、臨床系の学問では患者の利益をもたらす視点が最優先であり、欧州では疾患のメカニズム論よりも実用性が優先されています。

歯周病学は、他の歯科学が治療学から発展したのとは異なり、病態・疾患学として発展しました。「口腔」という特殊な感染防御システムの備わった部位に生じる歯周病の病態学は、歯周医学の発展に大きく貢献しました。一方、歯周病学で取り上げられた易感染性宿主である侵襲性歯周炎の病態名が、2017 年の欧米による新分類では削除されました。欧米から報告されたパラダイムシフトに対して、本学会からなんらかのメッセージを発する必要があると考えます。

上記の経緯から、今大会のメインテーマを「歯周病の精密および個別化医療」に決めました。第 63 回大会のテーマを踏まえ、歯周病学および歯周治療学の方向性や他分野との融合の可能性を探りつつ、患者ごとに治療の最適化を目指した個別化医療を考える場にできればと考えています。

大会 1 日目、村上伸也教授（大阪大学）に「歯周組織再生療法と侵襲性歯周炎の遺伝子診断（仮題）」、富澤一仁教授（熊本大学）に「糖尿病における Precision Medicine」の講演をお願いしました。午後には、シンポジウムⅠ「易感染性宿主の歯周管理と治療および全身疾患との関連性」をテーマに、歯周病学と口腔感染免疫学の貢献について、各エキスパートの先生方からご報告いただきます。歯科領域で見つかった易感染性宿主モデルとして、侵襲性歯周炎患者について数多くの研究が報告されてきましたが、「口腔の易感染性」について現時点の解釈をまとめておく必要があると考えています。また、シンポジウムⅡ「歯周病の精密医療」で、歯周治療におけるマイクロデンティストリーの有用性、先進的な歯周治療について、各エキスパートの先生方からご報告いただきます。

大会 2 日目、岩田光宏先生（さくらデンタルクリニック）から「重度歯周炎患者に対する包括的歯周治療」について、吉野敏明先生（医療法人育栄会銀座エルディアクリニック院長）から「医科歯科連携 統合医療 未病治療 個別化医療」についてご講演をいただきます。

午後のシンポジウムⅢ「ライフステージと病態を考慮した個別化医療」では、歯列不正や咬合異常の改善を目的とした小児期および成人の矯正治療、歯周治療と矯正治療の融合として PAOO、咬合学と歯周治療および広汎型重度歯周炎患者の口腔機能回復治療につい

て、各先生方の臨床の知についてご発表いただきます。

その他、倫理委員会企画講演、歯科衛生士教育講演、衛生士シンポジウム、国際セッション、認定医・専門医教育講演、ランチョンセミナーなど多彩なプログラムを現在鋭意準備中です。

大会が開催されます5月下旬の郡山は、少し遅めの春から緑豊かな変化を感じることでできる気候のよい時期です。郡山市は東京から新幹線で約80分と交通の利便性が高く、「楽都郡山」と称され、音楽活動の盛んな土地柄でもあります。大会当日は本学術大会で「学都郡山」を演出したいと思います。福島県は東北地方の玄関口で、「南東北」と呼ばれており、郡山周辺には会津磐梯山、猪苗代湖、鶴ヶ城や会津藩藩校の日新館、磐梯熱海温泉をはじめ、温泉が豊富な保養地が多く点在しております。大会後に、そちらへ立ち寄り、リフレッシュなさるのも学会の楽しみのひとつではないでしょうか。また、金賞受賞数9年連続一位を達成した福島の美味しいお酒もお楽しみください。

多数の皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

大会長 高橋慶壮

(奥羽大学歯学部歯科保存学講座歯周病学分野)

1. 会 期

令和6年(2024年)5月24日(金)、25日(土)

2. 会 場

ビッグパレットふくしま

〒963-0115 福島県郡山市南二丁目52番地

3. テーマ

歯周病の精密および個別化医療

4. 事前参加登録期間および参加登録費

令和5(2023)年11月14日(火)正午より

令和6(2024)年3月29日(金)正午まで

	事前参加登録	当日参加登録
正会員(歯科医師・医師ほか)	5,000円	8,000円
準会員(上記以外)	3,000円	5,000円
非会員(歯科医師・医師)	10,000円	13,000円
非会員(上記以外)	5,000円	8,000円
学生(歯学部・専門学校生)	1,000円	1,000円

5. 演題および抄録登録期間

令和5(2023)年11月14日(火)正午より

令和5(2023)年12月27日(水)正午まで

詳細は大会ホームページ <http://web.apollon.nta.co.jp/jsps67/>よりご確認ください。

第67回春季日本歯周病学会学術大会

準備委員長：山崎厚作(奥羽大学歯学部歯科保存学講座歯周病学分野)

実行委員長：山崎幹子(奥羽大学歯学部口腔病態解析制御学講座)

第67回春季日本歯周病学会学術大会 運営事務局

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-1

山口玄ビル6階

(株)日本旅行 大阪法人営業統括部 MICE 営業部内

TEL：06-4256-3869

E-mail：jsps67@nta.co.jp

学術大会 HP： <http://web.apollon.nta.co.jp/jsps67/>

第67回春季日本歯周病学会学術大会臨床ポスター (認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター)発表申込のご案内

学術大会における臨床ポスター(認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター)発表の演題募集は、一般演題とは別になります。受付は学術大会ホームページからのみになりますのでご注意ください。以下に概要を記します。

演題申し込みおよび抄録作成方法などの詳細は学術大会 Web サイト上で公開予定です。認定医・専門医と歯科衛生士症例のポスターカテゴリーごとに必ずご

確認ください。

1. 演題発表資格

いずれのカテゴリーとも、筆頭発表者が学会認定資格(認定医・専門医・指導医あるいは認定歯科衛生士)を有している必要はありませんが、筆頭発表者と発表における責任者は本学会会員に限り、また、本学術大会における筆頭発表は1名1演題までといたします。

す。詳細は学術大会ホームページをご参照ください。

2. 演題申込および抄録登録期間

令和5(2023)年11月14日(火)正午より

令和5(2023)年12月27日(水)正午まで

【注意事項】

A) 臨床ポスター、歯科衛生士ポスターは症例発表の場で、臨床研究の発表は認めておりません。臨床研究に該当する場合、一般演題での登録をお願いします。

B) 「認定医・専門医申請における医薬品・機器の使用に関する考え方(薬機使用の考え方)」

https://www.perio.jp/member/certification/recognition/file/new/info_220602.pdf

「学術大会・臨床ポスター応募症例チェックリスト(学術大会ポスターチェックリスト)」

https://www.perio.jp/member/award/file/special/poster_checklist.pdf

を遵守いただきますようお願いいたします。



薬機使用の考え方



学術大会ポスターチェックリスト

C) 登録期間終了日はアクセス集中によるエントリー遅延・不具合が起りやすいので、お早めに登録をお済ませください。

D) 演題申込時には学術大会ホームページ記載の留意事項を必ずご確認のうえ応募くださいますようお願いいたします。上記事項を逸脱する行為および演題内容については、発表をお断りすることがあります。

3. 臨床ポスター発表の特典

臨床ポスター発表を行うと、筆頭発表者に対して資格申請・更新に必要な所定の研修単位が付与されます(専門医の申請時、および認定医と専門医の更新時の

生涯研修単位における業績発表単位は10単位、認定歯科衛生士の申請時・更新時の生涯研修単位における業績発表単位は10単位)。なお、感謝状の授与方法は第65回春季学術大会時より「学術大会終了後郵送」に変更となっております。

4. 臨床・症例ポスターの発表様式

パネルサイズは高さ210cm×幅90cmです。表示形式および表記様式、ポスター討論についての留意事項を学術大会ホームページにてご案内していますのでご確認ください。**演題番号の個所や顔写真の掲示場所、「同意や承認」(手術の患者同意あり、発表の患者同意あり、未承認薬等不必要の表示、利益相反状態の開示(コメント))の記載場所、ポスター討論の時間等細かく規定されていますので必ずご確認ください。**印刷前にPDF形式で発表データを提出いただき、認定3委員会・大会校により、事前チェックを行います。なお、演題登録後に抄録の変更や討論時の発表者交代は認められません。問題が生じましたら運営事務局にご連絡ください。

5. ポスター賞について

認定医・専門医優秀臨床ポスター賞は選考対象となることを希望された発表が、ベストデンタルハイジニスト賞は歯科衛生士ポスター発表として演題登録いただいた発表のうち症例発表が選考対象となります(ただし、留意事項を遵守されていない場合は対象外)。受賞発表および表彰は次回学術大会(第67回秋季日本歯周病学会学術大会)にて行います。その際、受賞ポスターは再掲しますので、発表ポスターの保管(データ版・紙版とも)にご協力願います。

専門医委員会委員長 吉成伸夫

認定医委員会委員長 仲谷 寛

歯科衛生士関連委員会委員長 荒川真一

専門医・指導医・認定医および認定歯科衛生士制度についてのお知らせ

日本歯周病学会では、本年度の認定医・専門医・指導医および認定歯科衛生士の申請と更新、ならびにその研修施設および学会認定研修会の申請を受け付けます。各資格についてのタイムスケジュールは以下のとおりです。

1. 専門医・指導医申請(第70回専門医・指導医認定審査)および各資格の更新

令和5(2023)年11月20日(月): 受付開始

令和5(2023)年12月8日(金): 締切(消印有効)

令和6(2024)年1月頃: 申請および更新に関する

書類審査会開催

令和 6 (2024) 年 3 月頃：(専門医申請者のみ) 専門医認定試験(ケースプレゼンテーション, 口頭試問, ならびに筆記試験) 開催

※第 68 回専門医認定審査より筆記試験が導入されました。書類審査合格通知時に詳細をご案内します。

令和 6 (2024) 年 5 月 23 日 (木)：各資格申請・更新合格者を理事会で承認

令和 6 (2024) 年 5 月 24 日 (金)：第 67 回春季学術大会 (福島) 時に合格発表

令和 6 (2024) 年 7 月頃：専門医・指導医認定証発行*

※日本歯科専門医機構発行の歯周病専門医認定書は令和 6 (2024) 年度末に行われる運用審査承認後に発行予定

2. 認定医申請 (第 31 回認定医認定審査) および更新
令和 6 (2024) 年 1 月 9 日 (火)：受付開始
令和 6 (2024) 年 1 月 26 日 (金)：締切 (消印有効)
令和 6 (2024) 年 2 月頃：申請および更新に関する書類審査会開催

令和 6 (2024) 年 5 月 23 日 (木)：(申請者のみ) 筆記試験会場：ビッグパレットふくしま

申請・更新合格者を理事会で承認

令和 6 (2024) 年 5 月 24 日 (金)：第 67 回春季学術大会 (福島) 時に合格発表

令和 6 (2024) 年 7 月頃：認定医認定証発行

⇒平成 30 (2018) 年 1 月 1 日より、新規認定医申請の際に、本学会が行う倫理に関する講演の受講 (1 回以上) が義務付けられました。

3. 認定歯科衛生士申請 (第 38 回認定歯科衛生士認定審査) および更新

令和 5 (2023) 年 10 月 30 日 (月)：受付開始

令和 5 (2023) 年 11 月 17 日 (金)：締切 (消印有効)

令和 5 (2023) 年 12 月頃：申請および更新に関する書類審査会開催

令和 6 (2024) 年 3 月頃：(申請者のみ) ケースプレ

ゼンテーション

令和 6 (2024) 年 5 月 23 日 (木)：申請・更新合格者を理事会で承認

令和 6 (2024) 年 5 月 24 日 (金)：第 67 回春季学術大会 (福島) 時に合格発表

令和 6 (2024) 年 7 月頃：認定歯科衛生士認定証発行・認定歯科衛生士襟章送付

以上の各資格の申請・更新手続き、申請書類や規則等については、学会ホームページ (<https://www.perio.jp>) をご確認ください。ホームページに記載された方法に準拠しない申請・更新手続きは無効となります。

なお、規則・細則は改定されることがありますので、ホームページにおける申請受付前 1 カ月以内の最新の記載内容を確認してください。

研修施設申請・更新のお知らせ

認定医、専門医の研修施設を認定する制度です。申請・更新受付とも期間は令和 5 (2023) 年 11 月 20 日 (月)～令和 5 (2023) 年 12 月 8 日 (金) (消印有効) です。申請・更新手続きについては、学会ホームページ (<https://www.perio.jp>) に記載してありますので、これに従い手続きを行ってください。

認定医、専門医・指導医更新に関わる研修単位を取得できる専門医委員会が認めた歯周病に関する学会および研修会申請についてのお知らせ

歯周病学に関する専門的研修に寄与する学会、指導医等主催による任意の研修会について、研修単位取得対象研修会として認定する制度です。申請期間は令和 5 (2023) 年 11 月 20 日 (月)～令和 5 (2023) 年 12 月 8 日 (金) (消印有効) です。手続きの方法等を学会ホームページ (<https://www.perio.jp>) に記載しておりますので、これに従い手続きを行ってください。令和 6 (2024) 年 2 月末頃までに専門医委員会の審査による認定の諾否を通知いたします。

日本歯科専門医機構報告

現時点までの専門医に関する対応について、会員各位にご報告します。流動的な状況もございますので、

今後、取り扱い等の変更が発生する可能性があることをあらかじめご了承ください。これからも、会員各位

にしましてはタイムリーに情報を発信させていただきますので、会員情報の登録内容のご確認、ならびに電子メールご登録をお願いします。

口腔保健協会会員システム「OHASYS」

<https://ohasys.net/login>

※会員番号の確認はお手元の

会員カードをご参照ください。



1. 日本歯科専門医機構「共通研修」について

専門医新規・更新の手続きに際し、『①医療倫理、②患者・医療者関係の構築、③医療安全、④院内感染対策、⑤医療関連法規・医療経済』の受講歴が各1単位以上かつ、5項目を含む共通研修単位を毎年度2単位、計10単位取得が義務付けられております。

専門医（含む、指導医）新規・更新手続きに際しては、学会ホームページに掲載しているフローチャートにて現時点のご自身の共通研修単位をご確認ください。

専門医「共通研修」確認用フロー
チャート（新規・更新共通）

https://www.perio.jp/member/certification/special/application_jdsb.shtml



本学会では会員負担を考慮し、春季・秋季学術大会内で「共通研修」に認定された講演を実施し、日本歯周病学会学術大会への参加（現地・オンライン問わず）のみでカリキュラムを満たせるよう講演プログラムを編成しております。今後の予定としましては、

第66回秋季学術大会：⑤医療関連法規・医療経済

第67回春季学術大会：③医療安全

を開催予定です。専門医資格の取得および更新をお考えの先生におかれましては、必要とされる「共通研修」の単位を確実に取得するために、各学術大会へ参加（Web参加も可能）のうえ、共通研修を受講してくだ

さい。

2. 専門医の認定証発行について

2019年度以降に新規・更新認定されました専門医の先生方にはすでにお送りした日本歯周病学会「歯周病専門医認定証」（学会認定証）のほかに、日本歯科専門医機構より「歯周病専門医認定証」（機構認定証）が送付されます。この機構認定証は準備でき次第、日本歯科専門医機構より発行される見込みです。

従来から発行しております日本歯周病学会「歯周病専門医認定証（学会認定証）」「歯周病専門医記念の楯（希望者のみ）」は今後も発行いたします。日本歯科専門医機構から発行された認定証の内容に関する質問は、日本歯周病学会事務局までご連絡ください。

3. 令和6（2024）年度以降における機構認定に関わる 受益者負担（経費負担）について

令和6（2024）年度以降の専門医新規申請料・更新料に日本歯科専門医機構審査料として11,000円を上乗せし、受益者負担をお願いさせていただく予定です。

4. 新規認定資格合格者の掲示について

令和4（2022）年度の運用審査にて機構より、新規認定資格合格者の掲示を国民向けにも行うよう指導がなされました。今春の認定資格合格者（施設）より、従来の学術大会会場内で掲示されている合格者リストを学会ホームページ内「ピックアップ」にて公開しております。

5. その他

機構より、専門医研修施設の新規申請・更新時における指導医の勤務実態・診療実績、所属研修生の状況（数、研修年数）の提示が今後求められる可能性があります。その対応に関しては申請・更新施設になるべくご負担にならない方法を本学会内で検討中です。

学会プロモーション活動について

国民に対する歯周病啓発活動について、進捗状況をお伝えします。

1. 国民向け新ホームページ「PerioBook」の作成

現在の進行状況ですが、システム構築がほぼ完了し、

システムの実装とホームページのコーディング中です。以下にテストページをご紹介します。専門医、認定医、認定歯科衛生士を国民が探しやすいように検索機能を付与する予定です。



2. 国民向け歯周病関連のPR 動画の作成

今年度も日本臨床歯周病学会と共同で「歯周治療関心者向け動画」「歯周病非関心者向け動画 第2弾」の制作・公開を予定しております。4月の良い歯の日（4月18日）に合わせて、「歯周治療関心者向け動画」4編



#1：全身疾患との関係、歯周病とは、歯周病の原因（プラーク）

#2：歯周病検査（プロービング、エックス線、口腔内写真）

#3：歯周基本治療（歯周基本治療、ブラッシング、補助清掃用具、電動歯ブラシ、スケーリング、その他）

#4：歯周外科治療（歯周外科治療、メンテナンス）

にゃんかむちゅー
公式 YouTube
チャンネル

を公開しました。11月のいい歯の日（11月8日）に向けて「歯周病非関心者向け動画 第2弾」の制作を進めております。

各賞および奨学金助成募集のご案内

下記の募集を行います。いずれも学会ホームページにて詳細をご確認ください。

1. 日本歯周病学会奨励賞（Hu-Friedy Award）（令和5（2023）年度）

令和4（2022）年度実績：採択数4/応募数8

奨励賞は、歯周病学の発展に寄与する学術論文を発表した若手研究者を表彰するために、本学会名誉会員 見明 清 東京歯科大学名誉教授の寄付金を基金として、平成7（1995）年に設けられました。ヒューフレディ株式会社のスポンサーシップを得ており、本賞（奨励賞楯）のほかに副賞 Hu-Friedy Award（賞金3万円、クリスタルトロフィーならびに同社製品）が贈られます。4名以内が選考されますので、学会ホームページの応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。本賞の応募は、ホームページ上で受け付けます。



<https://www.perio.jp/member/award/encouragement.shtml>

申請期間：令和5（2023）年11月1日～12月8日

申請書類提出用 ID：JSP-2023

2. 日本歯周病学会教育賞（Ishiyaku Award）（令和5（2023）年度）

令和4（2022）年度実績：採択数1/応募数2

教育賞は、歯周病学教育の発展に寄与した取組みを表彰することを目的としております。表彰対象は、歯周病学の教育の発展に寄与する取組みです。応募資格は、取組み代表者が本学会の会員であること、過去に本賞を受けたことがないことが条件です。なお、本賞は副賞として医歯薬出版株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には本賞（表彰状）のほかに、副



賞 Ishiyaku Award (賞金 5 万円) が贈られます。学会ホームページの応募要項をご確認のうえ、奮ってご応募ください。本賞の応募は、郵送で受け付けます。

<https://www.perio.jp/member/award/education.shtml>

申請期間：令和 5 (2023) 年 11 月 1 日～12 月 8 日
(郵送、消印有効)

3. 奨学金助成 (令和 5 (2023) 年度募集 令和 6 (2024) 年度実施)

令和 4 (2022) 年度実績：採択数 2/応募数 2

日本歯周病学会は、次世代の歯周病学研究の質の向上を支援するために、若手研究者に対する奨学金助成を行います。本奨学金は、本学会が平成 23 (2011) 年度から基金として準備し、平成 25 (2013) 年度に設置されたものです。助成者は、申請者から 2 名以内 (1 件の上限は 100 万円) が選考されます。応募の条件が定められていますので、学会ホームページの規程をご一読のうえ、若手研究者の皆様には奮ってご応募ください。本賞の応募は、ホームページ上で受け付けます。



<https://www.perio.jp/member/award/scholarship.shtml>

申請期間：令和 5 (2023) 年 11 月 1 日～12 月 8 日
申請書類提出用 ID：JSP-2023

4. Young Investigator Award (SUNSTAR Award) (令和 6 (2024) 年度)

令和 4 (2022) 年度実績：採択数 2/応募数 3

本賞は、学術大会発表において優れた研究を発表した若手研究者を表彰することを目的としております。表彰対象は、本学会当該年度の日本歯周病学会 Young Investigator Award に応募し、学術大会に発表された口頭発表とします。本賞は副賞としてサンスタース株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には本賞 (Young Investigator Award 楯) のほかに、副賞 SUNSTAR Award (賞金 5 万円と記念品) が贈られます。応募の条件が規定されていますので、学会ホームページの応募資格 (申請期間開始日までに掲載予定) をご確認のうえ、奮ってご応募ください。本賞の応募は、ホームページ上で受け付けます。



<https://www.perio.jp/member/award/young.shtml>
申請期間：令和 6 (2024) 年 2 月 1 日～3 月 8 日

申請書類提出用 ID：JSP-2024

5. 日本歯周病学会地域活動賞 (令和 6 (2024) 年度)

令和 4 (2022) 年度実績：採択数 1/応募数 2

本賞は、歯周病の予防・治療を通して、地域住民の健康増進に寄与した優れた活動業績を上げられた団体を表彰することを目的としております。表彰対象は地域社会の歯科保健、特に歯周病治療の向上に優れた功績のあった団体です。応募の条件が定められていますので、学会ホームページの規程をご確認のうえ、奮ってご応募ください。本賞の応募は、郵送で受け付けます。



<https://www.perio.jp/member/award/regional.shtml>

申請期間：令和 6 (2024) 年 2 月 1 日～5 月 31 日
(郵送、消印有効)

6. 日本歯周病学会歯周組織再生医学優秀発表賞 (KAKEN Award) (令和 6 (2024) 年度春季学術大会発表)

本賞は、日本歯周病学会各学術大会においてポスター発表された歯周組織再生に関する優れた研究 (臨床・基礎は問わない) および筆頭演者を表彰することを目的とし、令和 5 (2023) 年度に創設されました。本賞は副賞として科研製薬株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には本賞 (歯周組織再生医学優秀発表賞楯) のほかに、副賞 KAKEN Award (賞金 5 万円) が贈られます。学会ホームページの応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。本賞の応募は、ホームページ上で受け付けます。



<https://www.perio.jp/member/award/presentation.shtml>

申請期間：令和 5 (2023) 年 11 月 1 日～令和 6 (2024) 1 月 31 日

申請書類提出用 ID：JSP-2024

7. 日本歯周病学会歯周組織再生医学優秀論文賞 (KAKEN Award) (令和 5 (2023) 年度)

本賞は、本賞募集前年 1～12 月に掲載、あるいはアクセプトされた歯周組織再生に関する論文 (臨床・基礎は問わず、幹細胞研究等も対象) および著者を表彰す



ることを目的とし、令和5(2023)年度に創設されました。本賞は副賞として科研製薬株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には本賞(歯周組織再生医学優秀論文賞楯)のほかに、副賞 KAKEN Award(賞金10万円)が贈られます。学会ホームページの応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。本賞の応

募は、ホームページ上で受け付けます。

<https://www.perio.jp/member/award/paper.shtml>

申請期間：令和6(2024)年2月1日～3月8日

申請書類提出用 ID：JSP-2023

第110回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会 2024大会のご案内

第110回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会2024大会(AAP-JSP/JACP2024サンディエゴ大会)が、下記のとおり開催されることとなりました。日本からも多くの先生方が演者として採択されております。皆様のご参加をお願いいたします。

開催日：令和6(2024)年10月31日(木)～11月3日(日)

会場：San Diego Convention Center
San Diego, CA, USA

標記大会の参加登録はアメリカ歯周病学会ホームページから行っていただく予定です。詳しい登録方法は日本歯周病学会ホームページ(<https://www.perio.jp/member/>)

jp/member/ 会員向けページに申込用バナーを設置します)およびニュースレターでご案内いたします。

なお、今回もJSP/JACPポスターセッションが行われます。演題募集は12月から開始予定です。優秀な発表には表彰(JSP/JACPポスター賞)も行われます。応募資格等につきましては、年内に学会ホームページに掲載されますので、ご確認のうえ奮ってご応募ください。

募集カテゴリー(予定)：General/Basic Research, General/Clinical Research, Case Report, Dental Hygiene

理事長 沼部幸博
国際交流委員会委員長 吉村篤利



第66回春季学術大会(令和5年5月26日)で行われたAAP-JSP/JACPサンディエゴ大会の調印式

秋季総会について

従来、抄録集へ総会開催通知兼委任状のハガキを綴
込していましたが、信書に該当するおそれがあること
から、秋季学術大会より抄録集への同ハガキ綴じ込み
を見合わせることにいたしました。

秋季総会は以下の日時に開催予定です。参加人数の
把握のため、出欠を事前に回答願います。

日時：令和5(2023)年10月13日(金)10:40~12:00

場所：出島メッセ長崎 2F コンベンションホール3+4

※回答フォームは9月25日(月)頃

より受付開始予定

議事事項：庶務報告、会計報告、各種

委員会報告、その他

総会終了後、各賞表彰式実施



回答フォーム

歯科衛生士教育講演・臨床研修会のご案内

歯科衛生士教育講演

今年度の開催予定は以下のとおりです。
詳細はホームページで通知いたします。

<https://www.perio.jp/member/>



- ・徳島県 日時：令和5年11月26日(日)
会場：ろうきんホール(徳島市)
定員：100名
- ・福井県 日時：令和5年11月26日(日)
会場：福井県協ビル(福井市)
定員：80名

臨床研修会

今年度は群馬県、福井県での開催を予
定しております。詳細はホームページで
通知いたします。

<https://www.perio.jp/member/>



各賞・助成選考結果

各賞・助成の概要につきましては、学会ホームペ
ージに掲載しております。なお対象者および受賞者の所
属は、選考・受賞時のものです。

学会賞 (SUNSTAR Award)

稲垣幸司

(愛知学院大学短期大学部歯
科衛生学科・教授)



申 基喆

(明海大学歯学部口腔生物再
生医工学講座歯周病学分野・
教授)



村上伸也

(大阪大学大学院歯学研究科
口腔治療学講座・教授)



奨励賞 (Hu-Friedy Award)

大杉勇人

(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野)
「High-frequency pulsed diode laser irradiation inhibits bone resorption in mice with ligature-induced periodontitis」



田村哲也

(広島大学大学院医系科学研究科歯周病態学研究室)
「Anti-inflammatory effects of geniposidic acid on *Porphyromonas gingivalis*-induced periodontitis in mice」



三上理沙子

(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生涯口腔保健衛生学分野)
「Influence of aging on periodontal regenerative therapy using enamel matrix derivative : A 3-year prospective cohort study」



林 千華子

(九州大学大学院歯学府口腔機能修復学講座歯周病学分野)
「miR-1260b inhibits periodontal bone loss by targeting ATF6 β mediated regulation of ER stress」



教育賞 (Ishiyaku Award)

稲垣幸司

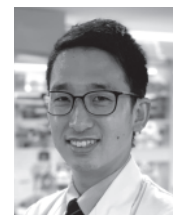
(愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科)
「臨床実習時の学生に対する口腔清掃習慣としての歯間ブラシ定着における歯間ブラシサイズチェッカー介入効果に関する検討」



優秀臨床ポスター賞 (Quintessence Award)

最優秀賞ポスター賞

今村健太郎
(東京歯科大学歯周病学講座/東京歯科大学口腔科学研究センター)
「歯肉のバイオタイプが薄い患者における複数歯に及ぶ歯肉退縮に対して根面被覆術を行った一症例」



優秀賞ポスター賞

大月基弘
(大阪・DUO Specialists Dental Clinic)
「広汎型侵襲性歯周炎の疾病治療に加え、患者の審美性回復に苦慮した4年経過症例」



ベストデンタルハイジニスト賞 (TAKARA BELMONT Award)

岩坂美宥
(福岡歯科大学口腔医療センター)
「歯周基本治療で改善が見られた侵襲性歯周炎患者の一症例」



研究者育成ファンド

福場駿介
(University of Zurich, Clinic of Reconstructive Dentistry)



Young Investigator Award (SUNSTAR Award)

宮下幸大

(日本歯科大学生命歯学部
歯周病学講座)

「Wound healing in periodontal disease induces macrophage polarization characterized by different arginine-metabolizing enzymes」



林 千華子

(九州大学大学院歯学府口腔
機能修復学講座歯周病学分
野)

「歯肉幹細胞由来エクソソーム内包 miR-1260b による歯根膜細胞の小胞体ストレス応答制御を介した破骨細胞分化の抑制」



JACP/JSP ポスター賞

昨年 11 月に開催されました第 108 回アメリカ歯周病学会共催日本臨床歯周病学会・日本歯周病学会 2022 年大会 (AAP-JACP/JSP フェニックス大会) の JACP/JSP ポスターセッションで発表いただいた演題のうち、各部門における受賞者をご紹介します。

General/Basic Research 部門 (医歯薬出版賞)

最優秀賞

中島麻由佳

(新潟大学大学院医歯学総合
研究科歯周診断・再建学分野)

「Local delivery of Backpack-bound M2 macrophages—Cellular immunotherapy against periodontitis」



優秀賞

林 千華子

(九州大学大学院歯学府口腔
機能修復学講座歯周病学分
野)

「miR-1260b inhibits periodontal bone loss by targeting ATF6 β 」



General/Clinical Research 部門 (白水貿易賞)

最優秀賞

青山典生

(神奈川歯科大学歯学部臨床
科学系歯科保存学講座歯周病
学分野)

「Impaired oral functions in subjects with insufficient recognition of umami」



優秀賞

喜田さゆり

(神奈川歯科大学大学院歯学
研究科歯周病学分野)

「Relationship between meal sequence, nutrients and number of teeth」



Case Report 部門 (科研製薬賞)

最優秀賞

松井徳雄

(東京・医療法人貴和会)

「Efficacy of re-entry surgery after regenerative therapy from long-term prognosis over 10 years」



優秀賞

石谷昇司

(東京・石谷歯科医院)

「A case report ; Severe chronic periodontitis progression after treatment of intra-osseous defects」



優秀賞

寺西香織

(大阪歯科大学附属病院)

「A case report of peri-implantitis treatment outcome for recall dropout patient」



Dental Hygiene 部門

最優秀賞

緒方美智子

(東京・清水歯科クリニック)

「A case report of periodontal treatment for a patient with dental phobia」



次期理事 (2・3・4 項理事) 選出についてのご案内

特定非営利活動法人日本歯周病学会定款細則により、次期理事の選出についてご案内申し上げます。

(特定非営利活動法人日本歯周病学会定款細則より抜粋)

第7条 理事の選出はこの細則に基づいて理事会が行う。

1 理事は以下の基準のいずれかを満たす者とする。

- 1) 歯科大学および大学歯学部において歯周病学を担当する教授
- 2) 3年以上の評議員経験者で、歯周病学関連の研究教育に従事する教授
- 3) 5年以上の評議員経験者で歯周病学関連の診療教育に従事する以下の基準のいずれかを満たす学外臨床医（主たる勤務が大学・大学病院の会員は除く）

①日本歯周病学会指導医の資格を有している者

②歯周病学領域の卒後研修などにおいて、指導的立場から歯科医師の診療および教育などに直接従事していて、業績がありその経験年数が10年以上ある者

4) 5年以上の評議員経験者で、歯周病学関連の診療、

研究または教育に従事する歯科衛生士

5) 理事長の依頼により選出された以下の者

①日本歯科衛生士会から推薦を得た歯科衛生士

②専門医制度関連学会に関する細則第5条で承認された団体から推薦を得た同団体会員

2 理事の定員は以下のように定める。

前項1), 2), 3), 4), 5) に該当する理事はそれぞれ29大学各1名、15名以内、10名以内、2名以内、各1名とする。

3 本細則第7条1項2), 3), ならびに4) の理事の選出は、別に定める内規に基づいて行う。

4 理事は任期中に担当講座を辞任した場合には、辞任時に理事の任期を解くものとする。なお、第7条1項3), 4) の理事にあっては満70歳を定年とし、理事の任期中に70歳になった場合、その年度で任期満了とする。

上記のうち、第7条1項の2), 3) および4) に該当する理事につきましては、各任期の最終年度に、内規に則し次期理事の選任を行います。2) に該当する理事15名、3) に該当する理事10名、および4) に該当する理事2名を公募いたします（ただし1大学からの推

薦枠は2名まで)。なお、次期理事の任期は令和7(2025)年4月1日より令和9(2027)年3月31日になっております。

なお、理事選出は、理事選任に関する内規に則って行われますので、応募は現理事による自薦または他薦いずれでも結構です。また提出書類は、履歴、業績、推薦書等ですが、書式につきましては必ず学会事務局(口腔保健協会)にご確認、ご請求くださいますようお願い申し上げます。なお、業績は理事選挙の際に投票参考資料として開示されますことをあらかじめご承知願います。

応募締切は学会事務局宛に令和5(2023)年11月30日(木) 消印有効《レターパックプラス(書留)またはそれに準ずる宅配便を利用のこと》とさせていただきます。

選出は、選挙管理委員会での資格審査後、以下のスケジュールで現理事の郵送による投票、理事会による承認を経て次期理事が決定する予定です。

【次期理事選挙のスケジュール】

令和5(2023)年11月30日(木)

公募締切(消印有効)

選挙管理委員会による資格審査

令和6(2024)年1月下旬

理事候補者の公示ならびに理事投票フォームの配信

選挙権者は理事(理事選任に関する内規1-II-6-(4))

選挙公示日は2月1日(木)

2月9日(金) 投票フォーム送信締切(同日23:59:59事務局必着)

選挙管理委員会による開票

5月23日(木) 理事会への選挙結果報告ならびに承認

5月24日(金) 総会への選挙結果報告ならびに承認

備考: 次期理事長の選出につきましては、理事長候補資格者のうち立候補いただいた理事のなかから、理事会(令和6(2024)年5月23日開催)における選挙をもって選出いたします。結果につきましては、総会(令和6(2024)年5月24日開催)以降にお知らせいたします。

理事選挙管理委員長 菅谷 勉

理事選挙管理副委員長 辰巳順一

理事選挙管理委員 荒川真一、片桐さやか、

田口洋一郎、長野孝俊

応募書類請求ならびに送付先: 日本歯周病学会事務局
〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9

駒込 TSビル4階(一財)口腔保健協会内

TEL: 03-3947-8891 FAX: 03-3947-8341

e-mail: gakkai16@kokuhoken.or.jp

第66回春季学術大会「若手研究者の集い」開催報告

第66回春季日本歯周病学会学術大会で「若手研究者の集い」を開催させていただきました。今回は、アメリカから講師を現地にお招きしてオンデマンド開催としました。さらに、後日、大会長の湯本先生のご厚意により、学術大会WEB内で同時配信させていただくことになりました。このような企画とした経緯は、新型コロナウイルスも5類に移行し、以前の状況に戻りつつもありますが、引き続き注意が必要な状態が続いていること、また、若手研究者だけでなくできるだけ多くの会員の先生方に今回の貴重なお話を視聴いただけるようにと考え、このような運営とさせていただきます。

これまでの「若手研究者の集い」は、若手の留学経

験者の話が多かったので方向を変え、ベテランの海外研究者でアメリカ・サンディエゴで今も活躍されている、丸山俊明先生(Founder and Chief Operating Officer/Chief Scientific Officer, Abwiz Bio)をお招きし、ご講演を賜りました。

丸山先生は1987年、東京医科歯科大学卒、内科専攻、その後、順天堂大学免疫学教室(奥村 康教授)で研究されました。そして、渡米し1993~1995年、UCサンディエゴ校(Pojen P. Chen 准教授)にて、リウマチ因子、ファージディスプレイにて自己抗体作成を行い、1994年に博士号を取得されました。その後、1996~2000年、スクリプス研究所(Dennis Burton 教授)にてファージディスプレイの技術を取得、エボラ出血熱



の中和抗体 KZ52, C 型肝炎の中和抗体の作成に携わりました。2000～2006 年, Alexion Antibody Technologies にて, ライブラリー作成法の特許を取ると同時に炭疽菌の毒素中和抗体作成, ウマ脳炎ウイルスに対する中和抗体作成, CD200 に対する治療用抗体 Samalizumab を作成し, 臨床試験に進め, 2007～2010 年, Calmune にて合成抗体ライブラリーの作成, 2010～2012 年, Nitto Denko Technical に抗体作成技術を導入, 2012 年～現在, Abwiz Bio Inc 設立, ファージディスプレイによるラビットからの抗体作成と抗体エンジニアリング技術による治療用抗体作成のプラットフォームを確立されました。移植後拒絶反応を抑制する CD80/CD86 抗体による対外治療薬を作成され, XBB.1.5, BQ.1.1 等すべてのオミクロン株ならびに従来株に幅広い中和活性を有する抗体のエンジニアリングに成功しています。

講演では「バイオテックの Hub として成長した都市サンディエゴでの経験」と題し, 映画トップガンの舞台としても知られるサンディエゴの, カリフォルニア大学サンディエゴ校, ソーク研究所, スクリプス研

究所をはじめ, 数多くのアカデミアと製薬会社が集まる都市としての成長などを紹介していただきました。サンディエゴは気候も温暖で, 治安も良く, 大変住み心地の良い都市であり, 本学会でも AAP との共催で Annual meeting が何度か開催されました。私も参加いたしましたが, 大変素晴らしい街であることは会員の多くが感じていると思います。丸山先生は, そのサンディエゴで約 30 年過ごしたなかでバイオテック産業を通じさまざまな苦労や経験をされたことを, わかりやすく具体的にお話ししてくださいました。これから歯周病学会の若手研究者が海外に留学する際, 大変参考となる貴重なお話が伺えたと思います。丸山先生の今後のさらなるご活躍を祈念したいと思います。

最後に, 第 66 回春季日本歯周病学会学術大会「若手研究者の集い」に参加していただきました多くの先生方に厚くお礼申し上げます。これからの日本歯周病学会を支えていく未来の研究者が集い飛躍する機会として, この会がさらに進歩・発展していきますことを心より祈念いたします。

日本大学歯学部保存学教室歯周病学講座 佐藤秀一

日本歯周病学会会誌のご案内

前回のニュースレター以降、日本歯周病学会会誌に掲載されました論文をご紹介します。日本歯周病学会会誌は2015年よりオンライン化され、J-STAGEで閲覧できます。また、発行に合わせてメールアラートを配信しておりますので、学会にメールアドレスを登録されていない会員各位におかれましては、本学会ホームページよりご登録をお願いします。

日本歯周病学会会誌

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/periodo-char/ja>



日本歯周病学会会誌 Vol. 65 (2023) No. 1

• ミニレビュー

「歯周病原細菌ジペプチジルペプチダーゼによる2型糖尿病の増悪メカニズム」

鈴木茉那美, 下山 佑, 根本優子, 佐々木大輔, 根本孝幸, 八重柏 隆

「糖尿病が歯周組織再生に及ぼす影響—基礎研究における検討—」

備前島崇浩, 齋藤 淳

• 原著

「COVID-19 パンデミック下における歯学部学生に対する歯周病学教育の実践」

田口洋一郎, 梅田 誠, 有田博一, 音琴淳一, 柴 秀樹, 中村利明, 西田哲也, 吉田直樹, 小方頼昌

• 歯科衛生士コーナー

「超高齢社会だからこそ歯科衛生士が知っておきたい含嗽剤としての新規機能水」

荒川真一

日本歯周病学会会誌 Vol. 65 (2023) No. 2

• ミニレビュー

「歯根側面に認められるエックス線透過像」

中島啓介, 臼井通彦

「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) と歯周病」

瀬名浩太郎, 野口和行

「NLRP3 インフラマソームと歯周炎」

金子高士, 吉永泰周, 中村恵子, 坂上竜資

• 症例報告

「ラポール確立の重要性を再認識した広汎型慢性歯周炎 Stage IV Grade C の一症例」

宇井みゆき

「急激なHbA1c値の悪化に重度歯周炎症の関与を疑った一症例」

石田房子, 大森一弘, 佐々木知津, 平松恭子,

中川真奈美, 松原ゆかり, 井手口英隆, 徳善真砂子,

滝川雅之

編集後記

ちょうど2年前にも編集後記を書かせていただきましたが、当時は新型コロナウイルス感染による活動自粛の真っ最中でした。今振り返ると、非常に窮屈な時代だったと思います。時は流れて、今年の5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行し、日本歯周病学会も従来の活動を取り戻しつつあるように思います。春季学術大会では久しぶりに理事懇親会も開催され、また現地の学会会場では多くの会員の先生方のアクティブな姿を見ることができました。一方で、コロナ自粛によりリモート会議、web視聴、ハイブリッド形式での学会開催などが普及したことで、新しいスタイルの学会運営や活動も定着しつつあります。結果として、会員の皆様にとって、より活発な意見交換ができ、有用な情報が得ることができる学会になると期待されます。

さて、今回お届けするニュースレターは、西村英紀副理事長の「病名に思う」、第67回春季日本歯周病学会学術大会開催のご案内 (大会長 高橋慶壮先生)、認定医、専門医・指導医および認定歯科衛生士制度についてのお知らせ、日本歯科専門医機構報告、各賞および奨学金助成募集のご案内、AAP-JSP/JACP2024 サンディエゴ大会のご案内、秋季総会についてなどが掲載されています。非常に重要な内容も含まれていますので、しっかりとご確認ください。

最後になりますが、今年の10月には長崎での秋季学術大会 (大会長 吉村篤利先生) が予定されています。「グローバルな歯周治療」と長崎大学ならではのメインテーマであります。多数の学会員の皆様に参加し、有意義な大会になりますことを祈念しております。

(広報委員会副委員長 藤田 剛)